

## 朝霞合材工場に実質 CO<sub>2</sub>フリー電力

前田道路、低炭素  
合材を製造・販売

前田道路は朝霞合材工場（埼玉県朝霞市）に前田建設所有の太陽光発電所（茨城県つくば市）が発電する再生可能エネルギー電力を活用し、アスファルト混合物製造時の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を低減した合材の製造・販売を始めた。

東京電力エナジーパートナーの協力を得て非化石証書付電力供給を実現し、グループ内太陽光発電由来の環境価値を活用。実質CO<sub>2</sub>フリーの電力を使う低炭素合材となる。前田道路が2030年度の目標に掲げるCO<sub>2</sub>排出量50%削減（13年度比）を見据えた先行的な取り組みになる。

CO<sub>2</sub>低減量を見える化する施策として独自のアクションレポート（CO<sub>2</sub>削減

減証書）を施工業者へ提供することも計画。施工業者は積極的に低減行動のPRが行えるようになる。

既に朝霞合材工場では骨材などを加熱・乾燥する燃料にCO<sub>2</sub>排出原単位の小さい都市ガスとバイオマス由来の廃食用油を使用。アスファルト混合物製造温度を最大30度低減するフォームドアスファルト装置も備えるなど、CO<sub>2</sub>排出量削減に力を入れている。

